

崎 定 長 検

一級 さん

Vol.28

「お・も・て・な・し」
の心で

平井 光一さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。
その卓越した識見には、なにやら一家言ありそつです。
ざつくばらんに寄稿願いました。

仕事柄会食する機会があり、お客様から「長崎市
の人口は？」「明日観光して帰りたいけど、ど
こに行けばいいか？」「福砂屋のカステラは空港
と本店のどちらがおいしいの？」等聞かれ、『う
もう答ゆつことがでんやつた。すんどつところ
の説明もでんやつた。こがんことではいかん
と猛省。』まずは長崎さるくの参加から始めました。
いやー楽しかった。普段歩きなれ知つたつもり
のところいろんな発見や歴史があることを知るこ
とができ、特に「さるく達人バツジ」をもらつて
ニンマリ。次に第二回長崎検定2級にチャレンジ。
76点でなんと合格。調子に乗つて初開催の1
級を受験したが、4割しかとれず撃沈。5択でな
く記述式なので、中途半端な記憶では対応できず、
漢字も間違えられない。長崎の歴史を自分なりに
まとめなおして頭を整理する。更に書いて覚え、
視覚（画像・写真等）にひもつけて記憶の連鎖で
頭に叩き込みました。が、なかなか簡単には合格
できません。6回の受験で得点は計614点とな
りました。

家族や友人からは、「何のために受験するの？」
「長崎を勉強してガイドになるの？」と言われた

ものでした。当然意地もありましたが、やはり長
崎学は楽しい。世界史や日本史と異なり紀元前か
ら現代までのおおよそ460年の歴史の中に鎖国
の日本で唯一開かれた港として西洋文化と中国文
化の合流、キリスト教の歴史、幕末の遊学、等々
盛りだくさんの歴史が凝縮し、光輝いています。
長崎学の先輩たちの「岡目八目・長崎新聞掲載」
「長崎 南蛮文化の街を歩こう…岩波ジュニア新
書（これが短文対策に最適）新長崎市史等読んで
いてとても楽しいです。

また私の曾祖父は明治初期に一本釣りで釣れた
魚を長崎市内中心部で売り、売れたお金で生活用
品、食品を仕入れ、市内の地元で販売していたよ
うです。なるほど、うちの自家の正月では今でも
ヒメジの南蛮漬け等長崎料理が出てきます。曾祖
父は明治の長崎の著名人と交友があつたのでは…
この道もさるいた？…なんてことを考えながらさ
るくのも楽しいです。

いまは、勉強したことをベースに、長崎地物の
おいしいものを食べ歩き、長崎市内をさるき回り
情報を収集しています。これは、長崎に来られた

方に喜んで、楽しんでいただくために「おもてな
しの心」で対応できるようにです。つい最近会社
の全国の仲間が来た時も次のルートを企画し観光
案内しました。新地朝8時集合。オランダ坂・東
山手・グラバースカイロードを通りグラバー園・
伝統芸能館へ。大浦天主堂・南山手を経て、軍艦
島クルーズ・上陸。昼は出島ワープで長崎地物の
プチ宴会。出島見学後、路面電車で移動（築町で
乗り換え）。眼鏡橋を通り亀山社中へ。その後寺町
を通り浜市アーケードで休憩、崇福寺、福砂屋本
店へ行き、新地に戻り、夕方空港行バス停でお見
送り。長崎さるく凝縮版でした。今後も、研鑽に
励み長崎の楽しみかたを広めていきたいと考えて
います。



【プロフィール】

昭和37年9月9日（くんちの日）五嶋町
との境側の樺島町で生まれた。五嶋町
の長崎くんち奉納踊に参加できているの
は生まれながらの縁だっと思う。仕事は
三菱電機エンジニアリングに勤務。休み
は市内をうろうろさるくのが趣味